

高原に残された花園 一の瀬園地

乗鞍高原一の瀬園地は、古くから人々の暮らしと生物多様性が共存している場所です。松本市の生物多様性戦略「生きものあふれる松本プラン」において市民が生物多様性保全の世界への入り口となるモデル地区に選ばれています。

一の瀬園地

標高約1,500mに位置し、平らな地形に草原が広がる園地です。草原に加えて池や湿地、周辺には森林が広がっています。人の暮らしと山地帯、亜高山帯の境目にあることからアクセスが簡単で人里から山の上の植物までを一度に観察することができます。



一の瀬園地全景



草原の様子



大カエデ

人の暮らしのなごり

生物多様性とは、生きものたちの個性とつながりの豊かさを示した言葉です。草原には草原の森林には森林の生きものがいて、それぞれの調和によって自然は成り立っています。一の瀬園地は、ほうっておくと森林になってしまう場所です。現在、草原が広がり、多くの花が咲いているのは、人々が生活のために牛馬を放牧し、木々を燃料として切っていたことのなごりです。人の暮らしが生物多様性を維持してきた例といえます。



放牧地由来の草原
(枠内は数年放置したところ)



スモモ

草原の中になぜかスモモの木があり、秋になると赤や黄色の実をつけます。これは、人々が春には花を楽しみ、秋には果実を収穫するために植えていたものの生き残りです。

みんなで

調べた植物

一の瀬園地の植物調査は、地元の方々の協力を得て、実施しました。

歩道や道路沿いの植物のみを記録しましたが、320種類の植物を確認できました。



調査の様子

出会える花たち

一の瀬園地には、森林、草原のような多様な環境があるのと同時に、標高が高く、雪も多いため、独特の植物が生育しています。園路沿いだけでも300種類以上の植物を観察することができます。

草原の花



エゾノコリンゴ
4月 5 6 7 8 9 10



フジアザミ
4月 5 6 7 8 9 10



マツムシソウ
4月 5 6 7 8 9 10



オオダイコンソウ
4月 5 6 7 8 9 10



ノコンギク
4月 5 6 7 8 9 10



ハナイカリ
4月 5 6 7 8 9 10

湿地の花



ミツガシワ
4月 5 6 7 8 9 10



ミスチドリ
4月 5 6 7 8 9 10



アケボノソウ
4月 5 6 7 8 9 10



サトスゲ
4月 5 6 7 8 9 10



オオバセンキュウ
4月 5 6 7 8 9 10

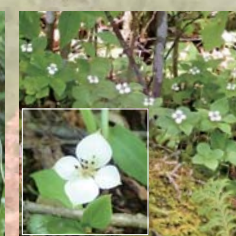


ウメバチソウ
4月 5 6 7 8 9 10

森林の花



ベニバナイチヤクソウ
4月 5 6 7 8 9 10



ゴゼンタチバナ
4月 5 6 7 8 9 10



ノリウツギ
4月 5 6 7 8 9 10



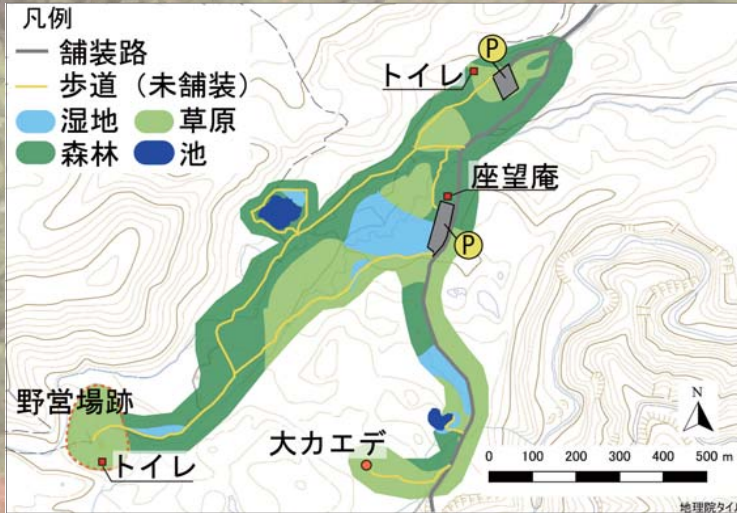
ツマトリソウ
4月 5 6 7 8 9 10



オオヤマサギソウ
4月 5 6 7 8 9 10



サンヨウブシ
4月 5 6 7 8 9 10



注意
山行きの服、くつで歩きましょう。草原や湿地の植物は多くの人に踏みつけられると、弱ってしまい、回復に時間がかかります。道路や歩道から離れないで観察しましょう。

観察ガイド

エゾノコリンゴ	植物の名前
4月 5 6 7 8 9 10	花の時期 (月)

お問い合わせ
松本市 環境部 環境保全課 環境保全係
☎ 0263-34-3267 E-mail:kankyo-k@city.matsumoto.lg.jp



松本市の生物多様性の保全に関する情報を紹介しています